

# 市民共同おひさまプロジェクトレター

NO. 4

発行 かわさき市民共同おひさまプロジェクト

2010年10月28日

おひさまプロジェクトの1号機2周年記念 & 2号機応援イベント

## ～おひさまパワーをあなたに～白井貴子コンサート&エコトーク

2010年9月4日中原市民館にて19時から20時45分まで開催されました。来場者は200名。前半のコンサートでは、太陽の大好きな白井貴子さんの歌に、心をあわせ、手拍子とって、会場は沸きました。後半は白井貴子さんと丹羽順子さんがエコトーク。そのすてきなトークをお伝えします。

丹羽：今、白井さんの歌でみんなが一つになって、森にいるような、癒された気分になって聞いていました！今日は市民共同で太陽熱温水器を設置しようというイベントですが、太陽熱といえば、昔は、ひなたに水を一寸出しておいて温かくしていたのが「ひなた水」。普通にやっていたことですよ。昔の人の叡智を若い人たちに教えていただきたいし、生活の中に取り入れていく時代だと思います。

白井：私は、家を買おうと思ってまちがって森を買ってしまったのです。畑にもはまっていました。

丹羽：衣、食、水など、暮らしのすべてで、それを便利だからといって買う時代ではないので、自分たちで自立して工夫する時代で、わくわくしませんか？白井さんは地球のすばらしさを自分のメロディとか歌詞とかで伝えているのはもちろんですが、白井さんがここにいることに意義があります。ロックンロールの精神には環境の活動と結びついていると思います。ロックンロールな生き方でしょうか？

白井：今まで線路がないところを切り開いていこうというのがロックですね。全然儲からないのですよ。ロックは。みなさんは、これからの地球を考えて、自分の足下から変えていこうとしている。新たな所に線路を作るのは大変な仕事で通じるころがある。

丹羽：ロンドンに行って環境問題を勉強して今役立っているのです。グローバルなこととはいえども、自分の日々の暮らしを、ていねいに生きて変えていかないといけないと思っています。私の市民活動の第一歩は実は生ごみだったのです。ロンドンで生ごみを分別していたので日本に帰って捨てられなくなったのです。当時多摩区に住んでいて、たまたまごみ連の活動を知って参加しました。今は鎌倉に引っ越していますが、市民活動にはまっています。おひさまプロジェクトのような活動は、これこそロックだ！今までにないお金の使い方ですね。

白井：来春公開予定の映画「アメリカに桜を送った男」で主題歌を歌います。100年前に6千本の桜を送った高峰譲吉の話で、これからの100年をどうするかというのできゅーんときちゃったのです。

～～～ここで白井さんの1曲♪「桜の花が岸边に咲いたよ……………」

丹羽：日本の古い暮らしには叡智があった。社会の仕組みはヨーロッパが進んでいるかもしれないけど、今は日本大好き。



白井：小田原のふるさと大使をやっています。小田原には北原白秋が住み、たくさん童謡を残しています。その童謡はすべて自然が教えてくれたもので、命が息づいていて、ふるさとの原風景があって、私たちが失ってしまったものがあります。小田原ではみかんがだんだん作られなくなってしまったので、今みかんの花咲く丘と童謡を復活させようとやっています。

丹羽：自分の住んでいるところが好きで何とかしたいというエネルギーが自分の中にある。

白井：一人ではできないけれど、みんなでつながっていけばできる。

丹羽：おひさまプロジェクトに、ちょっと仲間に入れてもらうのは、すてきだと思います。

～～～最後に、白井さんが♪「元気になあ～れ」(NHK ひろどき日本列島のテーマソング)を会場の皆さんと歌ってお開きとなりました。(文責 飯田和子)

### 出演者プロフィール

#### ♪ 白井貴子

神奈川県藤沢市生まれ、1981年デビュー。「CHANCE」のヒットをきっかけに女性ポップ・ロックシンガーの先駆者的存在に。アルバム「地球」リリース。自身の伊豆の森「マーガレットグラウンド」にて生まれた曲を多数収録。「地球と遊ぼう！」を合言葉に環境問題などのイベントにも多数出演。神奈川県環境大使、環境省 3R 推進マイスターなどに就任し、活躍中。「遊ぼう！楽しもう！地球の音！」(ニッポン放送毎週火曜日の夜) [takako@1242.com](mailto:takako@1242.com)

#### ♪ 丹羽順子

フリーランスの環境活動家。鎌倉在住。自然育児や畑仕事、また仲間とともに立ち上げた持続可能な地域をデザインする「NPOかまわ」の活動から日々学んでいるオーガニックな暮らしを幅広く発信中。FMラジオで毎週日曜日午前6時から放送の「LOHAS SUNDAY」のナビゲーター。主宰する古着の交換会xChangeが全国で話題を呼んでいる。 [www.junkoniwa.net](http://www.junkoniwa.net)

## あさお青玄寮祭に出展しました

～出展はフロンターレクラブハウス横～

私たちが太陽熱温水器設置をめざすフロンターレ麻生グラウンドで、第1回あさお青玄寮祭が2010年9月20日開催されると聞き、主催者のあさお青玄寮祭実行委員会に出展をお願いしました。青玄寮とは新人のために新たにできた寮で、祭はそのお披露目のイベントです。2号機のことを麻生区の方やフロンターレのファンのみなさんにもっと知ってもらうため、ソーラーッキングを麻生自然エネルギー活用促進実行委員会に、太陽熱温水器デモ器の実演を矢崎総業にご協力をお願いして実現しました。

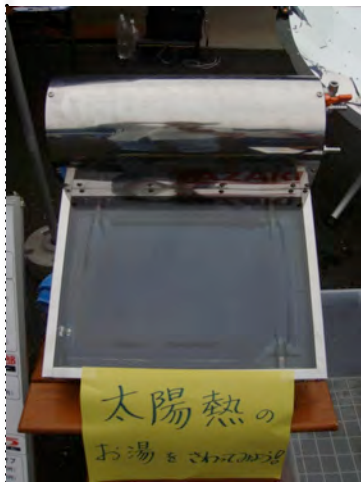
当日は、雨もなく過ごしやすき薄曇り、午後からは日射しが少し出てきました。参加者は2千人とのことでした。

私たちは、クラブハウス裏の飲食ブースに並



んだ、日当たりの良い場所をいただきました。ソーラーッカーを並べているだけで人の目を引きましたが、あいにくの曇り空。ようやくできたラスクを試食していただきリーフレットをお渡ししました。

今回初登場の太陽熱温水器デモ器は、小さいながらもほわんと温かいお湯をつくってくれました。蛇口から出るお湯をさわって「温かい!」「どれどれ、私も」とかわりばんこに手を差し出し太陽熱のお湯を楽しく体験していました。「その太陽熱温水器の本物が、4基このクラブハウスの屋根につ



くんですよ、選手のみなさんに自然エネルギーのお湯を使ってもらいます!」と現地だからこそわかりやすく説明することができました。

フロンターレのグラウンドや選手寮が麻生区にあることで地域のつながりも広まっています。知りあいを見つけてつかまえてご理解をいただき、6件の寄付がありました。配布リーフレットは100部、沢山の方とお話しすることができました。(岩本孝子)

## さがみはら市民おひさま発電所フォーラム

10月24日、相模原市立環境情報センターで開催されました。主催は太陽光発電所ネットワークPVさがみはら(代表塚原興治さん・事務局北村陽子さん)

基調講演は、田中優さんの「市民が創る!自然エネルギーの未来」。

100年後のエネルギーは何か?石油社会から自然エネルギー社会



への転換へ!とゆっくりとした語り口で、明快な説明をお聞きし、視界が開けたような気になりました。

パネルディスカッション「広がる!広げる!みんなの市民共同発電所」のパネリストは、ちがさき自然エネルギーネットワーク代表の上野ひろみさん、相模原市環境経済局の米田寛之さん、主催者副代表坂本勇夫さん、かわさき市民共同おひさまプロジェクトの岩本孝子さん。相模原では、市との協働事業として推進、茅ヶ崎では共同発電所で発電した電気はふるさと基金となり、1年に1回収入となるので2号機設置を目指しているそうです。講師の田中優さんは、「お金が回っていく仕組みづくりを考えることが大事です」と話されていました。(押見 史)

## プロジェクトの主な活動記録

- 6月24日 高津区倫理法人会セミナー(普及活動)
  - 7月1日 エコシティたかつイベント(普及活動)
  - 7月4日 インターナショナルフェスティバル(普及活動)
  - 7月7日 キャンドルナイト・ラッチタデラ(普及活動)
  - 7月17日 川崎フューチャーネットワーク(普及活動)
  - 7月21日 かわさき地球温暖化対策推進協議会(普及活動)
  - 7月22日 環境パートナーシップかわさき全体会議(普及活動)
  - 7月27日 CCかわさきエコ会議理事会(普及活動)
  - 7月31日 生田緑地サマーミュージアム(普及活動)
  - 8月4日 川崎区エコイベント/かわさきコンパクト
  - 8月9日 川崎市国際交流活動団体運営委員会(普及活動)
  - 8月24日 住まいと省エネと健康のアンケート勉強会(普及活動)
  - 8月26日 川崎市新エネルギー推進協議会(普及活動)
  - 9月4日 おひさまパワーをあなたにコンサート&エコトーク
  - 9月8日 (社)ソーラーシステム振興協会(見学会対応)
  - 9月19日 幸区ネイチャーフェスティバル(普及活動)
  - 9月20日 あさお青玄寮祭(普及活動)
  - 10月1日 長野県須坂市サンジュニア(見学会対応)
  - 10月9日 神奈川県環境活動人材育成講座(見学会対応)
  - 10月23日 市地域環境リーダー育成講座(見学会対応)
  - 10月24日 パークシティ溝口お祭り(普及活動)
  - 10月24日 さがみはら市民おひさま発電所フォーラム参加
- プロジェクト会議開催日:7月5日、7月12日、7月26日、8月9日、8月25日、9月13日、10月4日

編集後記 最近、「おおかみの護符」というドキュメンタリー映画を観た。高津区宮前区の農家で今もおおかみのお札を家々に飾っていると知った。イノシシやシカの被害から畑を守るためのおおかみのお札。ニホンオオカミは、神格化されたが、その後人の手で駆除され絶滅した。それは地域の生態系に影響し、イノシシやシカが急増し被害をもたらす。★今年は、クマが人里に降りてきてリンゴやカキを食べるそうだ。山にドングリなどの木の実が少ないらしい。人は生態系の中の一員にすぎない。いかに自然と共生し生物多様性を守るか、課題は大きい。また地球温暖化も人の行為に起因する。★少しでも早く地域から行動を起こしませんか!〈飯田和子〉